

LD、ADHD、高機能自閉症の定義

LD、ADHD、高機能自閉症について、調査研究協力者会議の報告に基づき文部科学省は以下のように示しています。

学習障害（LD）

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。

学習障害は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的な要因が直接の原因となるものではない。

「学習障害児に対する指導について(報告)」より
 (平成 11 年 7 月 2 日、学習障害及びこれに類似する学習上の困難を有する児童生徒の指導方法に関する調査研究協力者会議)

注意欠陥 / 多動性障害（ADHD）

ADHDとは、年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。

また、7歳以前に現れ、その状態が継続し、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」より
 (平成 15 年 3 月 28 日、特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議)
 アメリカ精神医学会による DSM- (精神疾患の診断・統計マニュアル：第 4 版) を参考で作成。

高機能自閉症

高機能自閉症とは、3歳位までに現れ、他人との社会的関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものをいう。

また、中枢神経系に何らかの要因による機能不全があると推定される。

「今後の特別支援教育の在り方について(最終報告)」より
 (平成 15 年 3 月 28 日、特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議)
 アメリカ精神医学会による DSM- (精神疾患の診断・統計マニュアル：第 4 版) を参考で作成。
 アスペルガー症候群とは、知的発達の遅れを伴わず、かつ、自閉症の特徴のうち言葉の発達の遅れを伴わないものである (DSM- を参照)。なお、高機能自閉症やアスペルガー症候群は、広汎性発達障害 (Pervasive Developmental Disorders ... PDD と略称) に分類されるものである (DSM- を参照)。